

DC3 活断層と内陸直下型大地震

担当教員：林 愛明 (slin@kugi.kyoto-u.ac.jp) ・ 浅野公之 ・ 岩田知孝

本演習では、活断層やそれから発生する内陸直下型大地震を研究するのに必要な、基礎的理論・野外観察と観測・データ解析・室内分析を体系的に学びます。演習は、活断層と断層破砕帯については、地球物理学教室で行いますが、活断層強震動地震学の演習のうちの数回は宇治キャンパスで行います。また、週末の1日野外巡検を2～3回行う予定です（日程は相談の上決めます）。大地震の震源（活断層）を認定し、その動く速度や頻度を明らかにし、それが動いたときに地面がどのように揺れるのかを調べる様々な方法を学びます。

活構造学に関する演習（地球物理学教室）

空中写真と衛星画像の判読による活断層の認定

活断層変動地形の認定と変位量の測定

活断層の破砕帯の組織構造の観察と解析

現地での地形地質調査実習（日帰り，野島断層や有馬高槻耕造線活断層系など）

強震動地震学に関する実習（防災研究所）

弾性波動論に関する基礎的な教科書の輪読

地震計の設置と観測

地震動データによる地下構造特性の解析



野島断層の見学



地震動の観測